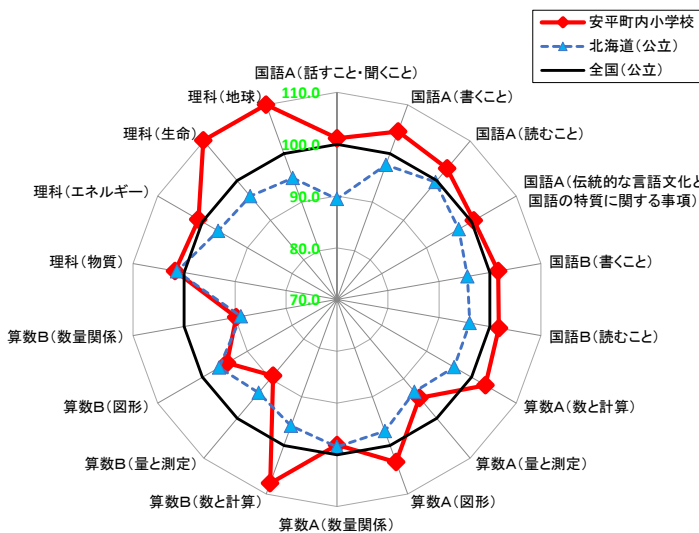


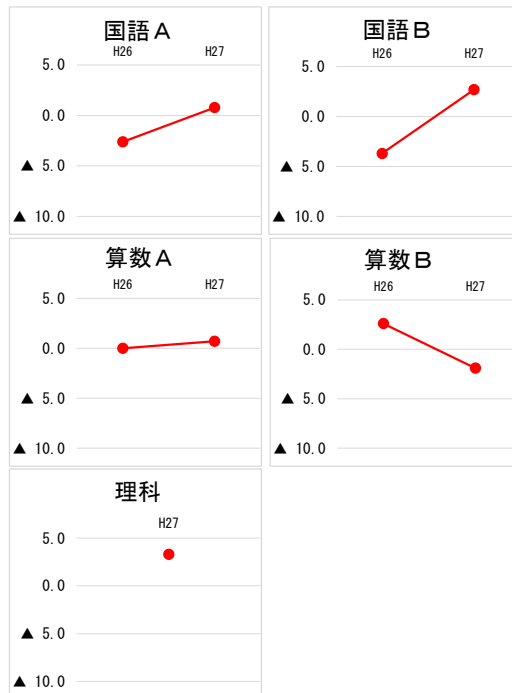
■安平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4、児童数:69名)

【教科全体の状況】

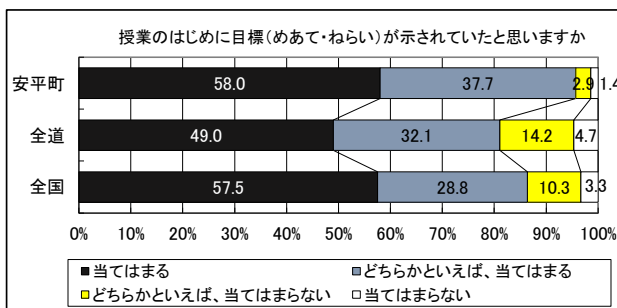
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



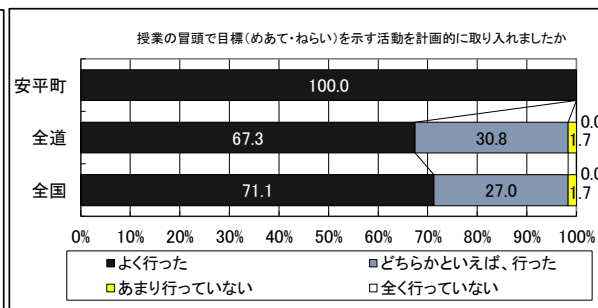
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、国語A・B、算数Aで全国及び全道を上回り、算数Bで全道を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域で、全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは「数と計算」、「図形」、算数Bでは「数と計算」、理科では全ての領域で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に行ったことにより、子どもたちは見通しをもって学習を進めることができ、学習内容の確実な定着が図られたと考えられる。 ○ 学校改善推進委員会による全国学力・学習状況調査の結果の分析と各学校の課題解決の取組や幼小中高の連携による出前授業などの学校間の縦・横・斜めの連携の取組により、全国や全道平均を上回るにつながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)が示されていたと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたと回答している。 	

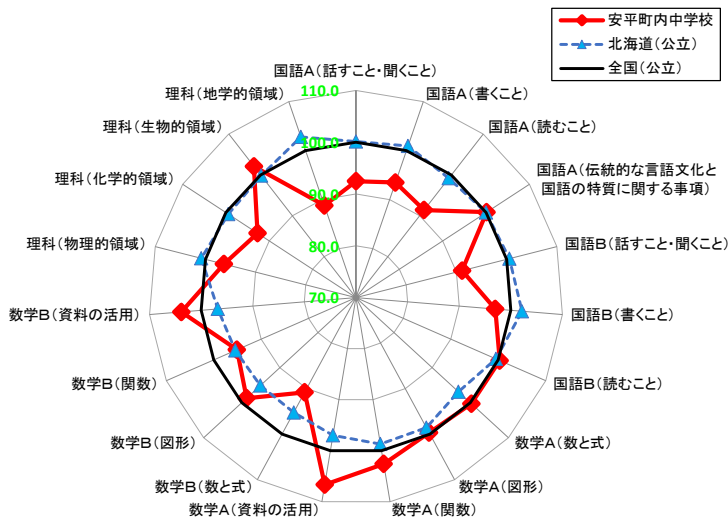
【安平町の学力向上策】

- ◎ 学校改善推進委員会を中心に、全国学力・学習状況調査の結果の分析を行い、各校の課題解決を図る。
- ◎ 教科の連携による「幼小中高教員の相互乗り入れ授業(出前授業等)」により、学校間の縦・横・斜めの連携を強化する。
- ◎ 学力・体力と相関関係のある「望ましい生活習慣」の定着を図るため「子ども朝活事業」の取組を進める。
- ◎ 教職員の資質向上のため、道教委主催の研修会への参加促進とともに、町教研で政策研修費(町補助金)を創設する。

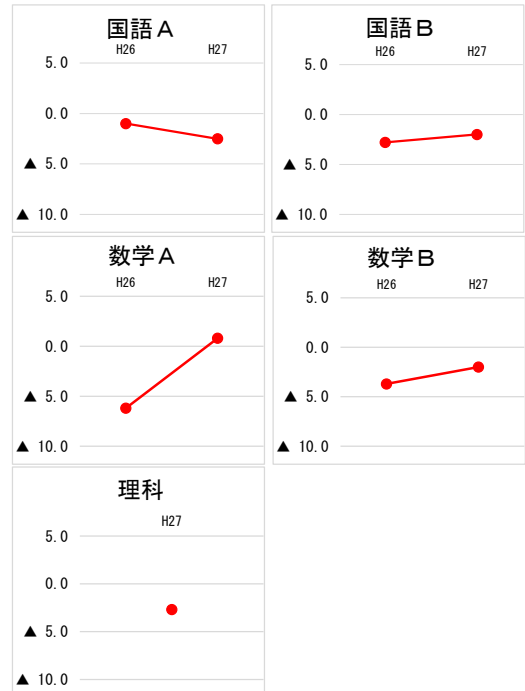
■安平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:75名)

【教科全体の状況】

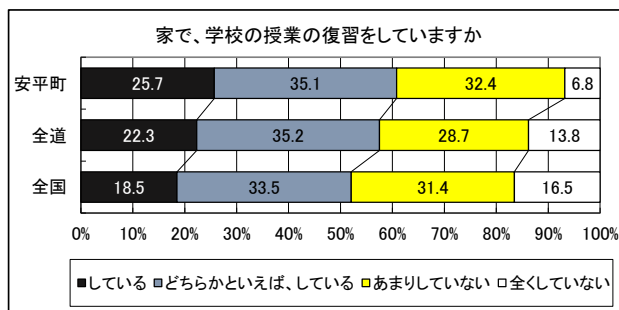
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



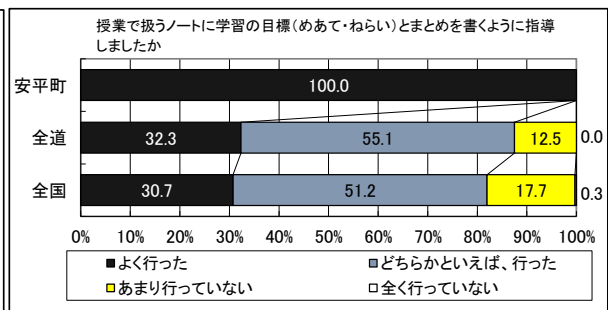
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、数学Aで、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で、全国とほぼ同様になっている。 ○ 数学Aでは、「関数」「資料の活用」、Bでは、「資料の活用」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、「生物的領域」で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業で扱うノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くよう指導を行ったことにより、家庭で学校の授業の復習を行う児童が増え、学習内容の確実な定着が図られたと考えられる。 ○ 学校改善推進委員会による全国学力・学習状況調査の結果の分析と各学校の課題解決の取組や、幼小中高の連携による出前授業などの学校間の縦・横・斜めの連携の取組により、全道平均を上回ることにつながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が授業で扱うノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導していると回答している。 	

【安平町の学力向上策】

- ◎ 学校改善推進委員会を中心に、全国学力・学習状況調査の結果の分析を行い、各校の課題解決を図る。
- ◎ 教科の連携による「幼小中高教員の相互乗り入れ授業(出前授業等)」により、学校間の縦・横・斜めの連携を強化する。
- ◎ 学力・体力と相関関係のある「望ましい生活習慣」の定着を図るため「子ども朝活事業」の取組を進める。
- ◎ 教職員の資質向上のため、道教委主催の研修会への参加促進とともに、町教研で政策研修費(町補助金)を創設する。